

平成 2 9 年度

岡山大学大学院法務研究科

法学未修者入試 B 日程

小論文問題

- ・ 指示があるまで、問題冊子を開いてはいけません。
- ・ 解答は解答用紙に横書きで記入してください。
- ・ 問題冊子は、この表紙を含めて合計 6 枚あります。
- ・ 試験終了後、問題冊子は持ち帰ってください（解答用紙は解答の有無にかかわらず、必ずすべて提出してください）。

問題 以下の「文章」を読んで、下記の2つの設問に解答しなさい。

【設問1】

著者は、①専業主婦化が進んだのは近代化の結果であると述べ、また②日本では欧米ほどには専業主婦化が進まなかったと述べている。それらの理由はどのようなものか。著者の主張を踏まえて400字以内で説明しなさい。

【設問2】

性別分業は今後も維持されるだろうか。著者の主張を参考にしつつ、あなたの考えを800字以内で述べなさい。

【文章】

出典：筒井淳也「結婚と家族のこれから 共働き社会の限界」（光文社新書・2016年）56～65 頁（なお、出題の都合上、文章の一部を省略・加工している。）

【出題意図】

特定のテーマについて書かれた問題文を読み、その内容を的確に理解できる能力をみるとともに、提示された設問に対する自己の見解を論理的かつ説得的に論述できる能力をはかることが、出題の意図である。